

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** **西野さち子** です！  
京都市議員

発行：2021年2月28日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



# 「黙らない」が政治を動かす…一緒に声をあげましょう!!



2月21日（日）に西野さち子市議は、桃山南から醍醐小栗栖地域迄5か所で訴えて回りました。「自民党公明党の政治は、コロナ禍のもとで苦しむ国民のくらしに背を向け続けています。放送事業会社に勤める菅首相の長男が、総務省幹部を接待していました。接待時の音声が開示され、事実が明らかになってきました。衛星放送への新規参入について話が合ったことについては、総務省幹部は「記憶にない」と逃げています。不祥事続きの一方で、75歳以上の方の医療費を

2倍にする計画は進める方向です。更に、コロナ対策も後ろ向きです。感染者が減ってきている今こそ、PCR検査を広く進める必要があります。京都市も見直すべき大型公共工事はそのまま、財政難と市民負担増を押し付ける予算を提案しています。今、共産党市議員団には、敬老乗車証の改悪中止・充実を求める署名が、連日、届いています。声を挙げれば政治は動きます。一緒に声をあげましょう」と西野市議が訴えました。



## 市民のみなさんの願い実現へ市議会で徹底論戦!!

### 惨事便乗型の京都市来年度予算を提案

2月17日から始まった2月議会の開始本会議で、市長から、来年度予算の提案がありました。予算規模は一般会計1兆5億円、特別会計6,254億円、公営企業会計2,618億円、全会計で1兆8,877億円となっています。

「今年度2月補正予算と一体の14ヵ月予算を編成した」と言いながら、深刻な実態に見合った支援になっていません。医療現場は引き続きひっ迫した状況が続いています。入所系高齢者施設のすべての職員と新規入所者へのPCR検査の実施が決まりましたが、定期的ではなく、医療機関や通所系や訪問系の施設は対象外となっています。重大なことは、コロナ禍と財政危機を「改革の契機に」と惨事に便乗し、「今の施策を続ければ財政再生団体になり、国保料や保育料が値上げ、敬老乗車証が廃止になる」と市民を脅かし、「受益と負担の公平」「将来世代へ負担の先送り」を強調し、市民間や世代間に分断と対立を持ち込んでいることです。そして、今後3年間を「集中改革期間」として、市民負担増を計画しています。大企業の法人税の見直しや大型公共工事の見直しこそ必要です。その立場で議論し、予算の組み換えを提案していきます。

発表された予算案の収支不足額は236億円に減っています。そして、財政難と言いながら、京都市立芸術大学の新築工事は進めます。総額290億円の内、建物の建設費140億円が計上されています。



補正予算委員会では、各党が疑問の声を挙げていました。請負業者は大阪の竹中工務店です。先送りにすべきです。

### 国保料は引き下げせず

国民健康保険料は保険料率を据え置きとしたものの一般会計繰り入れを前年度から18億円も減額して値下げに背を向け、その上、介護保険料基準額の値上げ（200円）を計上しています。繰り入れを減らさず、保険料の減額をすべきです。

ぜひ、お読みください  
政治革新の道しるべ、  
真実つたえ希望はこぶ

**しんぶん 赤旗**  
日刊●月 3497円  
日曜版●月 930円

困ったときは…  
**日本共産党の生活相談所へ**  
毎週月・水・金曜日  
午前10時から午後5時  
まずはお電話ください!!  
**☎621-6717**

### 500億円不足はやっぱり過大

来年度予算は500億円足りない、市民新聞やあらゆる機会を使って市民を脅し続けてきました。しかし、